



Uwasamon うわさもん



益城の若もんも、がまだしょっぱい！

町でうわさの若者を紹介。
夢に向かって全力で進む若者を応援します。

頑張っているもの

ソフトボール(女子)

名前 ふじもと しゅ か
藤本 朱華 さん(13)

行政区 安永1町内

益城中学校2年生
部活動/ソフトボール部/投手(右投右打)
都道府県対抗全日本中学女子ソフトボール大会
県選抜選手(27年3月に北九州市で開催)



「小学4年生から軟式野球を始めました。中学進学をきっかけにソフトボールに転向しました」と話すのは益城中学校ソフトボール部2年生の藤本朱華さん。
小学5、6年生で所属していた益城中央野球クラブでは、男子と切磋琢磨しながらレギュラー選手として活躍。女子軟式野球県選抜選手として全日本女子軟式野球九州大会に出場し、優勝を経験したほどの実力の持ち主だ。

「女子ソフトボールは、とにかく楽しいんです。練習の雰囲気や部活後の会話も、女子同士で共有できるんです」とあどけなく話す朱華さんだが、「帰宅後は毎日、父と練習しています。打撃や守備の練習に付き合ってくれるんです」と日々の努力を怠らない。そんな朱華さんに、父眞二さんは「日々練習に励む娘の姿に、やりがいを感じる」と振り返り、目を細める。

昨年末の中学女子ソフトボールの県選抜選手選考会では、70人を超す参加者と競い合い、選抜選手16人の一人として見事に合格。3月の都道府県対抗全日本女子ソフトボール大会に出場した。

部活でも新チームの投手として、重責を担う朱華さん。「夢は叶うもの、思い強ければ」これは不慮の事故で両腕を失くした菊陽町の詩人画家、大野勝彦さんおののかつひこの言葉です。夢・叶・思・強と帽子に書いて、試合や練習中にこの言葉を思い返します。自然と力が湧く大好きな言葉です」と話す。「日々努力。選抜選手として実力をもっと身に付けたい」と意欲に目を輝かせる朱華さんは、今日も白球を追い続ける。